

# 目次

<b>第1章 パソコンを使った文字による情報保障</b>	<b>1</b>	<b>第6章 さまざまな技術</b>	<b>145</b>
1. パソコン文字通訳の基礎	1	1. 入力支援機能	145
2. パソコン文字通訳の体験	11	2. テンプレート前ロール	150
3. 聞きながら入力するポイント	16	3. ルビ・入力読み(読み仮名)・色替え	155
<b>第2章 文字入力</b>	<b>19</b>	4. 画面設定の保存方法	157
1. タッチタイピング	19	5. 遠隔情報保障	158
2. スムーズな変換	25	<b>第7章 現場実習</b>	<b>161</b>
3. 表記	42	1. 現場実習の目的	161
4. タイピングの練習	48	2. 現場実習の心得(基本的な準備)	163
<b>第3章 必要な機器とソフトウェアの設定</b>	<b>55</b>	3. 現場実習の事前準備について	164
1. パソコン文字通訳に必要な機器	55	4. 現場実習の方法	166
2. 機器のセッティング	57	5. 現場実習の座席配置	168
3. パソコンの設定	59	6. 現場実習の検証	169
4. パソコン文字通訳で使用するソフト	62	7. 現場実習の評価のポイント	174
5. IPtalk の設定と入力方法	66	8. 入力技術の評価	177
6. 表示用パソコンの設定	71	9. 現場実習のまとめ	179
<b>第4章 パソコン文字通訳の基礎</b>	<b>74</b>	<b>第8章 パソコン文字通訳者の心構え</b>	<b>180</b>
1. 話し言葉の特徴	74	1. 文字通訳者としてのあり方	180
2. 話の聞き方・伝え方	75	2. 文字通訳者としての倫理	182
3. パソコン文字通訳における「整文」と「要約」	77	3. 文字通訳者としての心構え	184
4. IPtalk で1人で入力してみましょう	93	付録コラム「文字通訳論」	186
<b>第5章 連係入力</b>	<b>101</b>	<b>本文中コラム</b>	
1. 連係入力とは	101	パソコン文字通訳の歴史	3
2. 連係入力ができるための基礎的な力	101	速さと正確さはなぜ必要か?	6
3. 連係入力の練習方法	104	知っておきたい文法の知識	26
4. チームでの連係入力	116	ショートカットキーの活用	32
5. つまづきの対処法	123	単語登録のヒント	37
6. 訂正の方法	129	「入力が速い」「入力が遅い」とはどういうことか	41
7. 連係入力における整文	134	整文に役立つ文法の知識①	81
		整文に役立つ文法の知識②	88
		連係入力での視点の置き場所	103
		「連係」と「連携」	122
		パートナーとの間にスキルの差があるとき	144

※画像の一部やソフトの機能は基本的に 2025 年当時のものです。一部、最新ではないことがあります。ご了承ください。  
※ハード、OS、アプリケーションの設定についてはバージョンなどによって違いがあります。